

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名： 医療機関における外傷予防のための小児外傷例の情報収集

1. 研究の目的

お子さんのけが、やけどなど(外傷)を負った際の情報を収集し、どの様にけがをしたのか、製品や環境との関連性があるのか、などを調査して、我が国の現状に即した予防対策をご自宅、保育園、幼稚園、学校などで活用できる様に策定することです。

2. 研究の方法

研究対象：当センターにけがなど(外傷)で、倫理審査委員会承認後～2022年12月31日-2024年9月30日までに当院救急外来を受診された18歳未満、かつ、外来診療のみの方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日-2025年5月31日

研究方法：診療の範囲でお聞きした受傷時の状況、および、お子さんの診断名、治療内容、その後の状態について当院医師が診療録より必要なデータ収集・集計致します。提供頂きました情報は、匿名化(誰の情報か直ちに判別できない)し、産業技術総合研究所人工知能研究センター(データ管理責任者：北村光司)により、パスワード管理されたデータサーバー内で保管されます。データ管理責任者は、協力施設の情報を集計し、国立成育医療研究センター(責任者：植松悟子)に提供します。国立成育医療研究センターでは集計データを基に、多く発生している外傷、重症となりうる外傷などについて解析をして、国内の状況に見合った予防対策を作成して、実用化を目指します。

3. 研究に用いる情報の種類

お子さんの年齢、性別、けがをした原因、場所を含む環境、けがに関連した製品、けがをした部位、けがの種類(打撲、骨折、異物誤飲、など)、治療内容、診療費用、その後の状態、診療費用、が調査項目となります。

お子さんのお名前、住居など個人が同定される情報は一切含みませんので、研究の情報から個人が特定されることはありません。

4. 情報の公表

尚、本研究で得られた結果につきましては、研究報告書、学会発表、学術論文などにより公表されます。報告書、学術論文は電子的な配信をする場合も御座います。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター（責任者：植松悟子）
都立小児総合医療センター（責任者：岸部峻）
あいち小児保健医療総合センター（責任者：伊藤友弥）
兵庫県立こども病院（責任者：松井鋭）
北九州市立八幡病院（責任者：西山和孝）
九州大学医学部付属病院（責任者：賀来典之）

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、~~2023年3月末日~~**2025年5月31日**までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科部 植松悟子
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181 (内線 7352)

研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科部 植松悟子